

**日本語**

**AC-172N-1790  
セットアップマニュアル**

## 1. 設置時のプリセット板とサブクランプ受板の位置確認

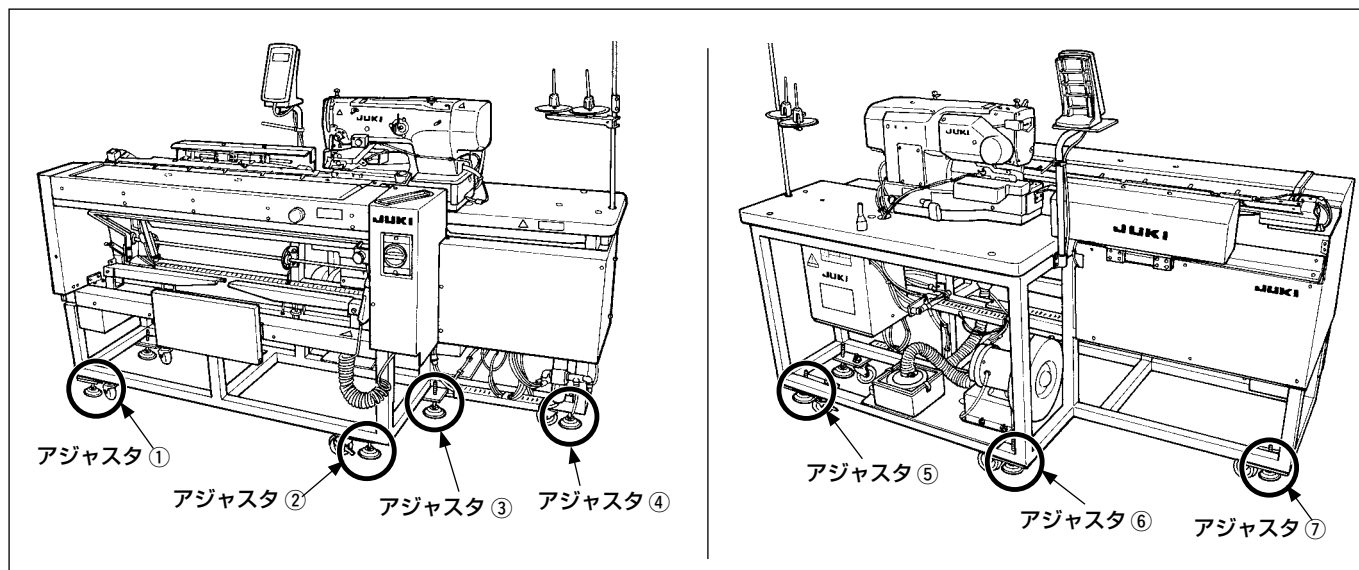
工場設置時は、必ずアジャスタを調整し位置確認をしてください。位置確認は、以下の手順で進めてください。

### 1-1. 電源とエアーの準備

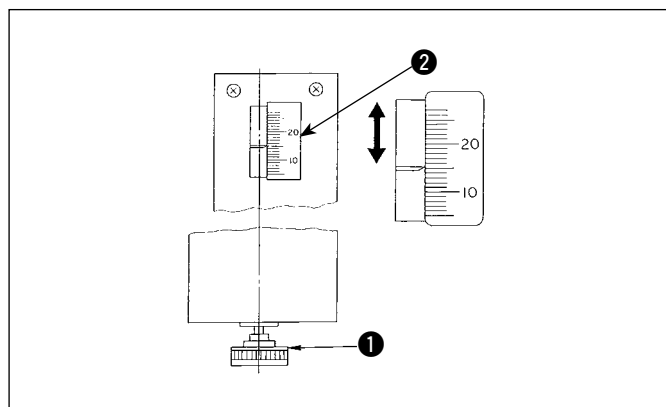
取扱説明書「I. 3-2. 電源の接続」と「I. 3-3. エアーホースの取り付け」を参照してください。

### 1-2. アジャスタの準備

各アジャスタ①～⑦が床に接地するまで回転させ、接地後に全てのアジャスタを時計方向に1回転させ装置を持ち上げてください。

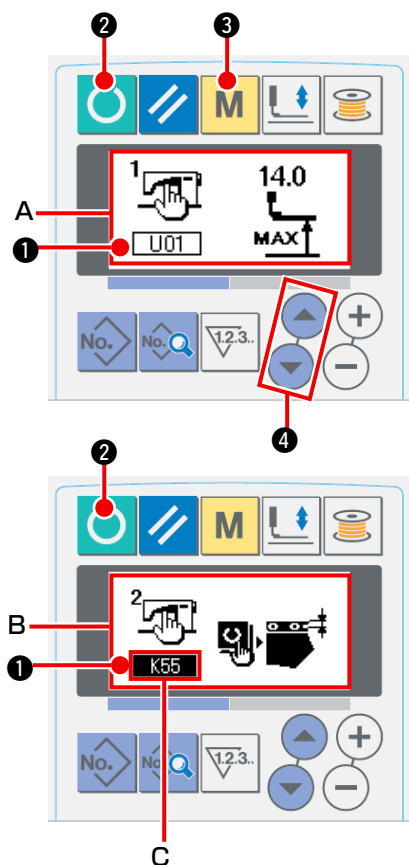


### 1-3. 縫い代の準備



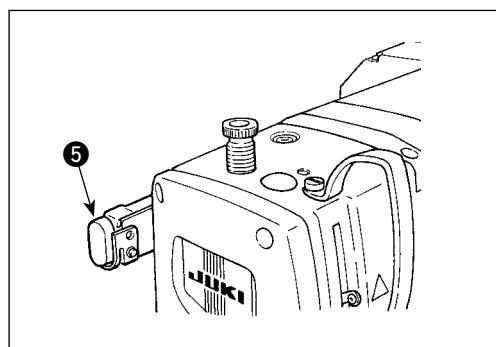
縫い代が 21mm に設定されているか確認します。設定されていない場合は、縫い代を調整します。付属品箱に入っているプリセット調整ハンドル ① を穴に差し込み、指標 ② で設定する目盛 (21mm) に合わせます。調整後はハンドル ① を工具箱に収納し、紛失しないようご注意ください。

### 1-4. 装置の準備



電源を入れてください。

- ① **入力モードにする**  
液晶表示 ① のバックライトが青色の入力モードのとき、メモリースイッチデータ変更が可能となります。バックライトが緑色の縫製モードの場合は、準備キー ② を押して入力モードに切り替えてください。
- ② **メモリースイッチデータ編集画面を呼び出す**  
モードキー ③ を押すとメモリースイッチデータ (レベル 1) 編集画面 A を表示します。さらに 3 秒間押し続けると、メモリースイッチデータ (レベル 2) 編集画面 B を表示します。
- ③ **変更するメモリースイッチデータを選択する**  
項目選択キー ④ を押して、K 55 を選択してください (C)。
- ④ **アジャスタ調整モードを起動する**  
準備キー ② を押して調整モードを起動してください。頭部停止スイッチ ⑤ を押すとプリセットが前進し受板が上昇します。調整ゲージをセットしてアジャスタ調整を行ってください。アジャスタ調整が終了したら、調整ゲージを取り外して、頭部スイッチを押し受板とプリセットを元の位置に戻してください。電源スイッチを押して、アジャスタ調整モードを終了してください。



**注意** アジャスタ調整モードでプリセットが前進している場合は、電源を切らないでください。

## 1-5. プリセット板とサブクランプ受板の位置確認

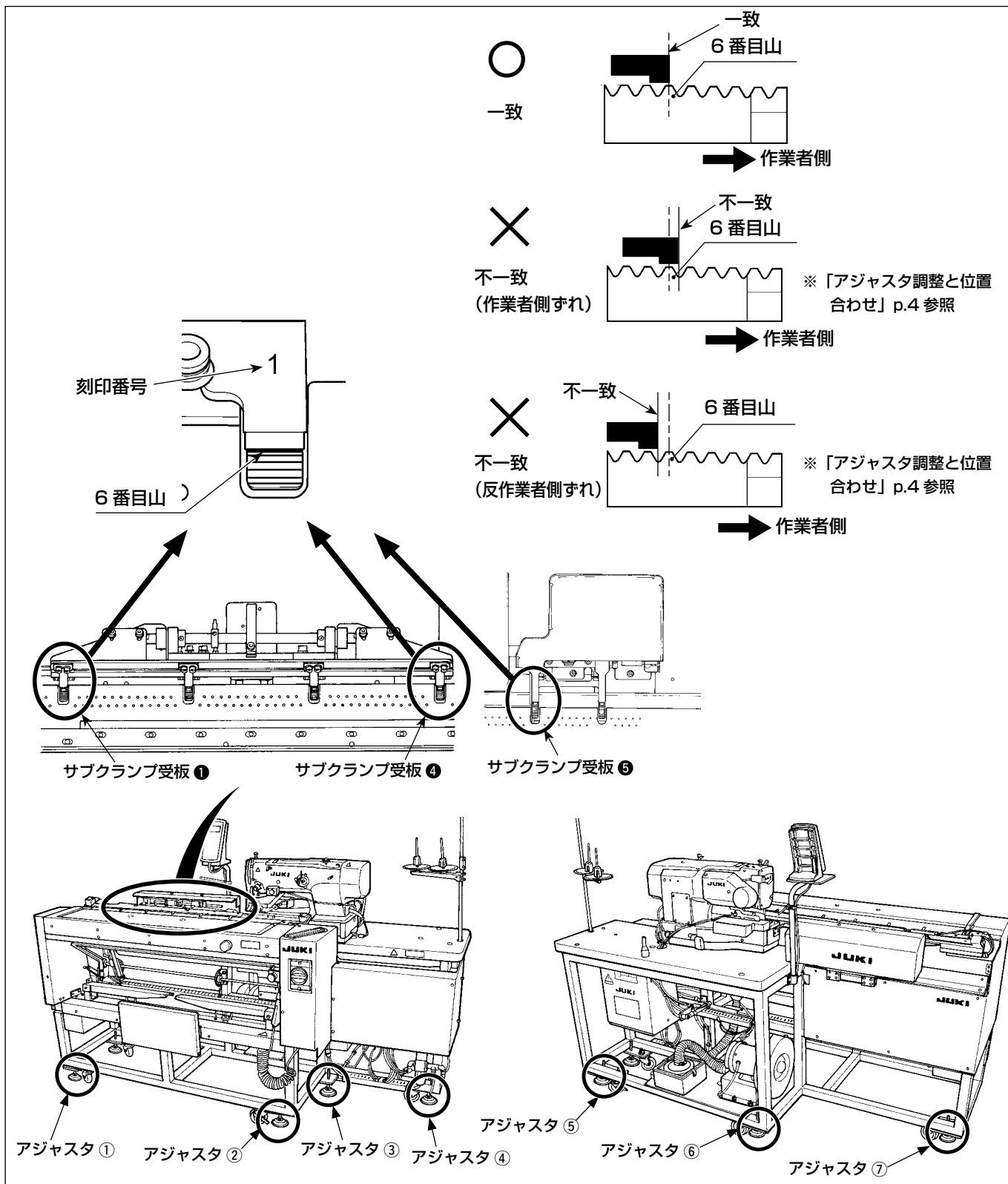
サブクランプ受板の番号 **①④⑤** と同じ刻印番号の調整ゲージをプリセットにセットしてください。サブクランプ受板の6番目山と調整ゲージが一致しているか確認してください。一致していない場合、「**■アジャスタ調整と位置合わせ**」 p.4 を行い、プリセット板とサブクランプ受板の位置を調整してください。



# 注意

確認する際はゲージを真上から見て行い、装置は触らないでください。

(注意) プリセット板とサブクランプ受板の位置調整前に、サブクランプ受け板 **①④⑤** の6番目山とゲージが、全体的に作業側または反作業側にずれていないか確認してください。全体的にずれている場合は、縫い代調整をしてください。



# ■アジャスタ調整と位置合わせ

## 手順 1

1A-1. ゲージに対し、サブクランプ受板①の6番目山が作業者側にずれている場合

1B-1. ゲージに対し、サブクランプ受板①の6番目山が反作業者側にずれている場合

1A-2. アジャスタ⑦を時計方向へ回し上昇させ、ゲージに一致したら手順2に進んでください。

図 1

1B-2. アジャスタ①を時計方向へ回し上昇させ、ゲージに一致したら手順2に進んでください。

図 1

## 手順 2

2A-1. ゲージに対し、サブクランプ受板④の6番目山が作業者側にずれている場合

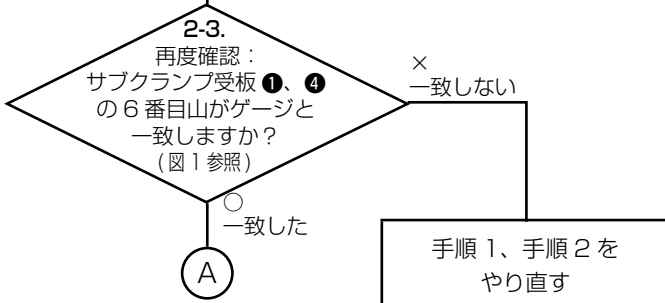
2B-1. ゲージに対し、サブクランプ受板④の6番目山が反作業者側にずれている場合

2A-2. アジャスタ③、④を時計方向へ回し上昇させ、ゲージに一致するまで調整してください。

図 1

2B-2. アジャスタ②を時計方向へ回し上昇させ、ゲージに一致するまで調整してください。

図 1



## 手順 3

3A-1. ゲージに対し、サブクランプ受板⑤の6番目山が作業者側にずれている場合

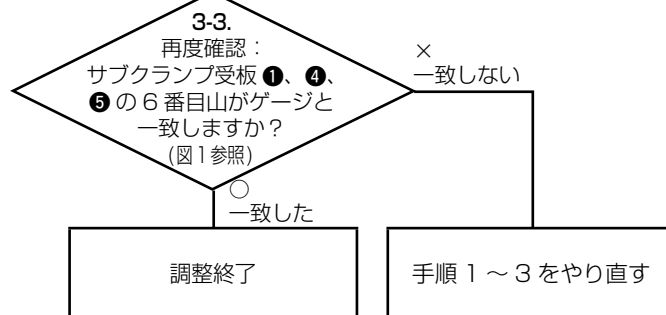
3B-1. ゲージに対し、サブクランプ受板⑤の6番目山が反作業者側にずれている場合

3A-2. アジャスタ⑤を反時計方向へ回し下降させ、ゲージに一致するまで調整してください。

図 1

3B-2. アジャスタ⑤を時計方向へ回し上昇させ、ゲージに一致するまで調整してください。

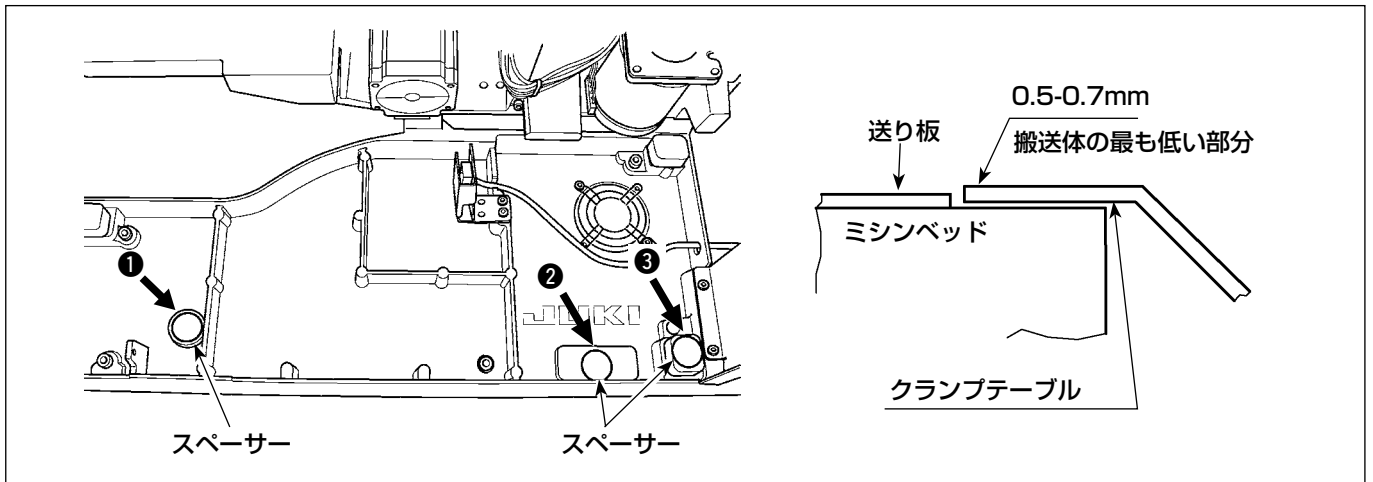
図 1



## ⚠️ 注意

サブクランプ受板とプリセットとの間にすき間があることを確認してください。  
調整終了後は、必ず調整ゲージを外してください。

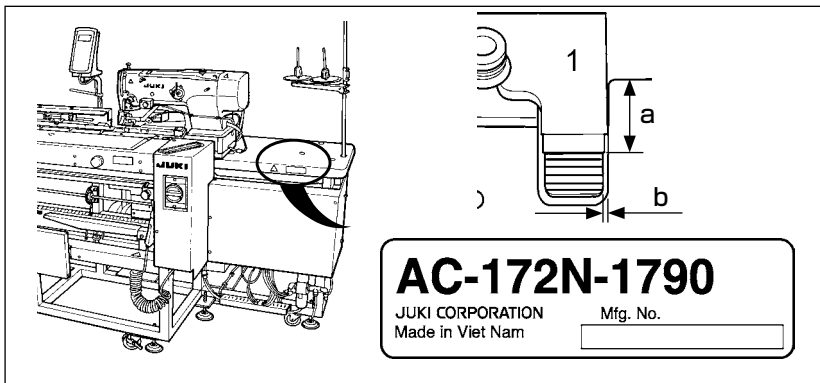
## 2. 頭部の調整



経年劣化により頭部が落ち込み、生地合わせをしたときに布地の折り端と縫い目の幅（コバ）にズレが発生する恐れがあります。

頭部ベッドと搬送部の最小のすき間が 0.7mm 以上のときは、スペーサー（0.5、1.0mm）を図の①②③位置に設置して、高さが 0.7mm 以下になるよう調整を行ってください。

## 3. 各調整値の記録



工場設置後に装置を移動する際は、添付のシートの寸法を参考に接地してください。

Mfg. No.		
	a	b
サブクランプ受板 ①		
サブクランプ受板 ④		
サブクランプ受板 ⑤		